

改善症例

60歳 男性 職業；会社役員/活動；ウォーキング・筋トレ
診断名；右肘内側上顆炎(病院にて医師の診断・診察を受けた際)
さらに、元々の首・肩の痛みと神経痛、腰椎椎間板ヘルニアが持病

Q.身体で悩みだった部分はどこですか？

A.肘の痛み。

Q.治療するきっかけは？(どのように知りましたか？)

A.肘が痛くなり、手に力を入れる日常動作に支障をきたしてきたの、この際、腰や上半身の痛みも、どうにかなるのか受けて聞いてみようと思ったので、治療の時間を作ろうと決心した。

Q.(治療を受けて)身体にどのような変化がありましたか？

A.肘の痛みが何処からきているのかを確認し、原因元も含めて治療を行ったため、身体全体、特に腰・肩等の痛みや違和感がなくなった。

Q.治療はどのようなものでしたか？これまで受けた治療(リハビリ・整体・接骨院・鍼灸...)

A.通常、痛いところの治療を行うことが殆どだと思うが、痛みの原因をはっきりさせ、治療している。

Q.現在の状態、ハッピーな点はありますか？

A.常に90%以上の状態でいられること。